

市のスポーツ関係23団体が所属し、約4,400人の市民が登録している矢板市体育協会。市民皆さんの健康増進や青少年の健全育成に大きく貢献しています。それぞれ団体の活動について会長にお話を伺っていきます。

矢板市体育協会の今

バスケットボール協会

登録人数
200人

会長 富川 黎司さん



主な活動を教えてください。

協会では、週に一度、小学生を対象とした教室や年に数回、小・中・高校生を対象とした大会を実施しています。そのほかに、年に一度バスケットボールフェスティバルを開催し、フリースローや3ON3など、バスケットボールに気軽に触れ合える機会を提供していますので、ぜひ一度遊びに来てほしいですね。

いま抱えている課題は？

体育協会全体でも言えることですが、現状として、若い世代をうまく組織に取り込んでいません。過去の経験者も多く、多くの学校でも部活動がまだ残っていますが、

そこから協会運営へ関わってくれる人材を発掘できていません。自分たちでプレーする喜びから、皆で共に楽しみを共有する喜びを味わって欲しいと思います。

バスケットボールのおもしろさは？

なんといってもこの競技の醍醐味は、そのスピード感にあります。攻守が素早く入れ替わり、細かいパスを回して、戦略的にゴール前を動き回る。最後の数秒で勝利が入れ替わることもあり、最後まで緊張感が途切れません。栃木県には、「リンク栃木ブレイクス」というプロバスケットボールチームがあり、テレビなどで目にする機会も多いと思いますので、一度選手の動きに注目してください。

今後協会が目指すものは？

課題でも挙げましたが、やはり競技者や協会役員の裾野を増やしていくかなくてはいいと考えています。なにをすれば正解かと言っ答えはありませんが、地道に教室や大会を続け、多くの方と触れ合い、関係を築いていければおのずと増えていくものと考えています。これからもバスケットボールの魅力を多くの人に伝え続けていきたいですね。

相撲協会

登録人数
20人

会長 大貫 雄二さん



主な活動を教えてください。

今協会では、塩谷地区大会や県民スポーツ大会の成人種目に参加していただくための練習会などが主な活動になっています。以前、ちびっこ相撲大会などで関わった子どもたちが高校生になり、大会で優秀な成績を修めたり、柔道などの他の競技に移っても頑張ってくれている姿を見ると、とてもうれしくなります。

いま抱えている課題は？

協会として子どもたちへの関わりが不足しているように感じます。未来を担う子どもたちに、もっと相撲が身近なスポーツであり、簡単に親しめるものであることを伝えていく

必要があると思います。相撲が持つ、武道の精神や魅力を将来につなげていけるよう、協会員皆で知恵を出し合っていかなければいけません。

相撲のおもしろさは？

相撲は日本の国技です。古くは古事記にも相撲のことが書かれているそうです。相撲とは一対一の対戦をとってもシンプルにしたものであり、ごまかしがききません。普段から稽古で鍛え上げた技と技、力と力がぶつかりあつ様は、とても美しいものだと思います。また四股を踏むと股関節の可動域が広がるとともに、筋力アップにもつながり、とても健康に良いと言われています。私も風呂上りなどに行っています。

今後協会が目指すものは？

これからは、できるだけ多くの人に相撲に親しんでもらいたいと考えています。年齢や性別にとらわれず、気軽に参加していただけるようなイベントや大会を開催していければいいですね。また、学校などと連携し教室を開催できればいいと考えています。運動公園には、立派な相撲場がありますので、ぜひ一度遊びに来てください。お待ちしております。